

# 学 園 讃 歌

安部芳雄 作詞

菅沼義重 作曲



しじまやふかく 世をおおい あゆみやあわく 地にふるう



つるぎのおとの こえたえ て あらしのあとの ゆうまぐれ



きかずやみ んなみそ らーたかく



ゆめよび さます かねなりぬ

1. しじまや深く 世をおおい  
あゆみやあわく 地にふるう  
つるぎの音の 声たえて  
あらしのあとの 夕まぐれ  
聞かずや 南空たかく  
夢よびさます 鐘なりぬ
2. 群れつ崎辺の丘行けば  
人住む家は はるかなり  
潮の香ゆるく 流れきて  
山々近く 語らいぬ  
ああ天地の ひめぐとを  
聞きては消えぬ うれいかな
3. つどえる子等の ほほあかく  
つどえる子等の まゆ高し  
白露の草を ふみしめて  
清らの道を 今ぞ行く  
見ずやわれらが よそおいを  
胸にとまれる 一の蝶
4. 友よ思いを ふこうせん  
友よ契りを かとうせん  
永遠の光の みなぎりて  
若き命の たぎる今日  
いざ うたわなん おどらなん  
いざ うたわなん おどらなん